



ミラノ通信

2019年8月 (No.2)
ミラノ日本人学校
川口 純平

イタリアの夏

ミラノ日本人学校に赴任して2年目を迎えています。今年のミラノは、サハラ砂漠からの熱い空気を伴った熱波に襲われ、とても暑い日が続いています。しかし、ミラノでは、どんなに暑くてもバスや地下鉄で冷房がついていない車両があったり、お店に入ってもほとんど冷房が効いていなかったりするところもよくあります。これは環境のためや節電のためということもありますが、イタリア人は「冷たい風に当たると風邪を引く」「冷房の風は体に悪い」と考えている方が多く、あまり冷房を好まないようです。

そんな夏のミラノでスーパーに行くと、日本の夏と同じようにスイカやメロンが売っています。また、なすやきゅうり、イタリア料理に欠かせないトマトなどの夏野菜も売っています。ちなみにオクラは“Okra”として売ってありました。イタリアのスーパーでは、ほとんどの野菜が量り売りなので、自分で好きな分だけ選んで買うことができます。



ミラノ日本人学校の日

ミラノ日本人学校では、日本の学校と同じ学習に加えて、イタリア語の授業が週に1回、どの学年でも行われています。ミラノっ子たちは、月から金まで学校で次のような1日を過ごしています。

7:50 開門

小学部の児童は、保護者同伴で登校します。
中学部の生徒は、自分で登校します。

8:05 ミンスポーツ

朝から元気に運動して心も体もスッキリ！

8:20 朝の活動

朝の読書や計算練習、朝の会をします。

8:45 1校時

9:40 2校時

小学部は45分、中学部は50分授業です。

10:25 中間休み

10:45 3校時

11:40 4校時

12:25 昼食

おいしいお弁当を教室で食べます。

月に1回縦割り班で昼食を食べる

「プランツォの日」もあります。

12:50 昼休み

中庭、緑地、体育館などで遊びます。

図書館で本も読めます。

13:25 掃除の時間

みんなで、教室や特別教室の掃除をします。

13:45 5校時

14:40 6校時

15:35 帰りの活動

帰りの会や帰りの支度をします。

16:00 下校

放課後は学校開放で遊んだり英語講座を受講したりしています。

自然体験学習

今回は、ミラノ日本人学校の特色ある学校行事のひとつ、自然体験学習についてお伝えします。

ミラノ日本人学校では、毎年7月に、小学部5年生から中学部3年生までがアルプスへ2泊3日の自然体験学習へ出かけます。今年はアオスタというアルプスの麓の街を中心に、トレッキングをしたりチーズ工場の見学やラフティングをしたりするなど、学校ではできない活動を通して、様々なことを学びました。

ローマ街道。ナポレオンも通ったそうです。



マッターホルンの麓までトレッキング。



2000mを超えると雪が残っていました。



フォンテーナチーフの保管所。すごい数でした！



みんなで息を合わせて漕ぎました。



ミニイタリア語講座

primavera (プリマヴェーラ) 春

estate (エステーテ) 夏

autunno (アウトウンノ) 秋

inverno (インヴェルノ) 冬

日本と同様に四季のあるミラノでは、季節によって表情を変え、四季折々の花も咲きます。また、冬にはわずかですが雪が降ることもあります。